



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和8年(2026年)第11週 2026年3月9日(月)~2026年3月15日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



結核は過去の病気ではありません

◎3月24日は世界結核デー◎

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。高齢者に多く、およそ6割が60歳以上となっています。また、若年の外国生まれの患者の割合が増加しています。結核を発症した場合、無治療していると50%程度の方が亡くなってしまいますといわれています。

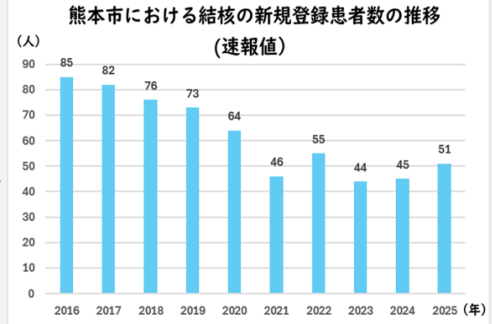
感染経路 主な感染経路は空気感染です。結核が進行すると、咳やくしゃみ等によって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります。

主な症状 肺結核として発症することが多く、咳や痰、発熱、倦怠感などの症状がみられます。肺のほか、全身の臓器に感染し、粟粒結核や結核性髄膜炎といった重篤な病態で死亡することがあります。

治療方法 通常、薬（複数の抗結核薬等）を医師の指示どおりに飲むことで治療できます。標準的な治療期間は6か月~9か月です。



～早期発見・早期治療が大切～
定期的に検診を受けましょう



胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

定点種別	疾患名	状況	10週(3/2~3/8)		11週(3/9~3/15)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	○	287	11.96	252	10.50
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	25	1.04	15	0.63
	急性呼吸器感染症(ARI)	/	1479	61.63	1641	68.38
小児科	RSウイルス感染症	/	9	0.60	8	0.53
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	12	0.80	13	0.87
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	93	6.20	84	5.60
	感染性胃腸炎	-	96	6.40	84	5.60
	水痘(みずぼうそう)	-	3	0.20	5	0.33
	手足口病	-	8	0.53	9	0.60
	伝染性紅斑(りんご病)	-	5	0.33	4	0.27
	突発性発しん	/	6	0.40	8	0.53
	ヘルパンギーナ	-	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	1	0.07	3	0.20
眼科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	5	1.00	7	1.40
基幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	/	1	0.20	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	1	0.20	1	0.20

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし